

令和8年度
水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）
仕様書

【プロフィアハイルーフ（ベルリング）仕様】

檜山広域行政組合

第1 総則

この仕様書は、檜山広域行政組合（以下「組合」という。）において令和8年度に購入する水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（以下「消防車」という。）の仕様について定める。

1 概要

- (1) この消防車は、次に掲げる法令他に適合し緊急自動車としての承認が得られるものであること。
 - ア 道路運送車両法（昭和26年6月1日法律第185号）
 - イ 道路運送車両の保安基準（昭和26年7月28日運輸省令第67号）
 - ウ 動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年10月15日自治省令第24号）
 - エ その他関係法令
- (2) 車体は、常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。
- (3) 車両の製作は、消防車両の安全基準検討委員会が定める「消防用車両の安全基準について」の項目を満足し、製造が行われていること。
- (4) 本仕様書に疑義又は変更の必要を認めるときは、直ちに組合に連絡し、協議の上その指示に従うものとする。
- (5) この消防車は、消防車両として最適の構造及び性能を十分に発揮するため、次の点に留意し作成すること。
 - ア 車両全般にわたり防水処置、防錆処置等を施し、堅牢にして積雪寒冷地における長期の使用に十分耐え得るものであること。
 - イ 各部の取扱いにおける安全性操作性を十分に考慮したものであること。
 - ウ 架装部分及び車両点検、調整、清掃、注油等の管理及び修理が容易で経済的に行えること。必要箇所には点検口または点検扉を設けること。
 - エ 塗装はく離、器具破損のおそれのある部分には、適切な保護板、保護枠等の保護対策を講ずること。
 - オ 車両の完成寸法は、次のとおりとすること。
 - ① 全長： 9,200 mm以下
 - ② 全幅： 2,500 mm以下
 - ③ 全高： 3,700 mm以下完成車両は車両全体重量のバランスを考慮して製作すること。
- カ 車両の製作にあたり、構成部品は消防救急デジタル無線装置を除き、すべて新規製品とすること。
- (6) 受注者は、契約にあたりこの仕様書を了承し、不審な点及び同等品等の使用については、組合に質問及び承認を得て十分に熟知した上で契約すること。

2 提出書類

- (1) 受注者は製作に先立ち、アの車両諸元性能表を提出し組合の承認後、次のア～オの書類を提出し、組合の承認を受けるものとする。

ア	車両諸元性能表	3部
イ	製作工程表	3部
ウ	製作承認5面図	3部
エ	製作承認積載図	3部
オ	その他参考になる図書	3部
- (2) 受注者は、納入に際し次の書類を提出すること。

ア	最終艤装5面図	3部
イ	最終電気系統図及び配線図	3部
ウ	消防ポンプ性能試験成績表	3部
エ	改造自動車等審査届出書（写）	3部
オ	自動車検査証（写）	3部
カ	緊急自動車届出受付済証明書又は届出確認書	1部
キ	リサイクル券	1部

- ク 各種装備品等取扱説明書 3部
- ケ 日本消防検定協会の評定合格（写） 3部
- コ 使用材料表（装備品含む）使用ヒューズ、電球型式一覧表及びパーツリスト 3部
- サ 写真（カラーE版（117×82.5mm）、JPEG形式の電子データ付）

次に掲げる写真（A4版ファイルで製本）をそれぞれ指定部数提出すること。

- ① 車両（出庫時）の前後左右及び斜め4方向と上方前後方向並びに下方前後左右方向から撮影したもの。
- ② 製作工程に基づくシャシから完成車までの状況を撮影したもの。
- ③ 塗装状況が確認できるもの。（工程ごと）
- ④ 附属品を撮影したもの。

シ その他組合が指定するもの。

3 検査

本仕様書、承認図及び協議事項に基づいて行うものとする。

(1) 中間検査

ア 時期については制作工程を考慮し行うものとする。

イ 受注者は制作工程を考慮し検査日の10日前までに組合に依頼文書を提出すること。

(2) 最終検査

新規登録後、組合が指定する日時及び場所で行うものとし、検査の結果不備結果、又は不合格の場合は、組合の指定する日までに改修又は取り替えを行い、再度検査を受けるものとする。

4 納入

- (1) 完成車の納入は、自動車及び艀装各般並びに附属品等の諸検査に合格し新規登録を受けた後、各部の点検整備及び手入れを実施のうえ、組合の指定する場所へ納入すること。

納入場所は、次のとおりとする。

久遠郡せたな町大成区都 427 番地 檜山広域行政組合 せたな消防署大成支署

- (2) 組合の担当職員に対して、指定する日時及び場所において専門技術員を派遣して、車両及び積載資機材等の点検整備、使用方法について十分な説明を行うこと。

5 費用・登録

(1) 消防車の新規登録及び納入に関わる各種費用は、受注者の負担とする。

(2) 自動車重量税、自動車損害賠償責任保険、リサイクル料は組合が負担する。

(3) 緊急自動車届出については、受注者が申請する。

6 事故防止

受注者は、消防車の製作及び移動にあたっては、事故防止に万全を期し、万一事故が発生した場合は、速やかに組合に連絡するとともに、その被害等について全ての責任を負うこと。

7 保証

この消防車の保証期間は、12ヶ月とする。ただし、設計不良又は機能不良に起因する故障については保証期間経過後においても無償とする。積載品及び装備品については、各メーカーの定める期間の保証とする。

第2 艀装

1 シャシ仕様

- (1) 年式 令和8年式
- (2) 型式 2PG-FQ1A系（改）（日野自動車株式会社製）
6×4（四輪駆動方式）
- (3) エンジン型式 A09C（消防専用車両）
- (4) 消防検定出力 380PS以上
- (5) 形状 4ドア・ダブルキャブ・ビルトイン型ハイルーフ
- (6) 動力伝達装置 6速オートマチック
- (7) 制御装置 PCS、VSC、EBS、デフロック

- (8) バッテリー 195G51×2 (24V-100AH)
- (9) 乗車定員 6名以上
- (10) 車両総重量 2.2t未満
- (11) ホイールベース 5,700mm以上5,726mm未満
- (12) 操舵装置 インテグラル式パワーステアリング
- (13) 附属品及び装備品
- ア スノーブレード
- イ サイドバイザー (全窓対象)
- ウ メッキフロントグリル
- エ メッキサイドミラー (助手席後方確認ミラー含む)
- オ ミラーヒーター
- カ 全席定尺マット (防泥タイプ (黒))
- キ 寒冷地仕様
- ク 防湿装置
- ケ 標準装備品一式 (標準工具一式 日野自動車株式会社製 Aセット)
- コ 夏タイヤ (国産タイヤ (アルミホイール付))
- サ センターキャップ、ナットキャップ1台分
- シ メッキナンバーフレーム前後
- ス バックアイカメラ (法規対応メーカー純正品)
- (14) キャブ内仕様
- ア LED式室内照明灯 (前席天井部3箇所 (純正室内灯))
- イ 全席LED式フットライト (運転席以外)
- ウ シートカバー (黒皮レザー製)
- エ 助手席は、ヘッドレスト連動アームによる空気呼吸器固定ホルダーを内蔵し、空気呼吸器の固定解除は、ヘッドレストを上げることにより解除されること。(レスキューシート)
- オ 中間手摺パイプを設け、中間手摺パイプにS字フック6個取付 (S字フックについては容易に移動しない構造とし、かつ取り外しが可能なこと。) また、中間手摺パイプ中央位置にA3地図等を収納するメタル製ボックスを設けること。
- カ 後部座席背もたれは、上下落とし込み式とし上下3段階のいずれかで固定ができる構造とすること。
- キ 後部座席下部に温水ヒーターを取り付け、座面には (蝶番跳ね上げ式) 資機材が収納可能なスペースを有すること。
- ク 後部座席背もたれ裏には面体を取り付ける二股タイプのフックを3カ所取付けること。
- ケ 後部座席裏面には後窓保護枠一体型の空気呼吸器ブラケットを設けるとともに、空気呼吸器取付器具 (株式会社ベルリング製 スマートドック) を3基分取り付けすること。(要別途協議)
- コ 後部座席裏面の空気呼吸器取付器具中間位置に上段パンチング扉付きの2段棚収納ボックス (1/4収納棚 プロフィアAタイプ) を設け、落下防止措置を講ずること。(スライド式黒色ネット) また、資器材を充電するためのACコンセントを3口以上設け収納ボックス内で充電が可能であること。
- サ 車両乗降部ABC各ピラー部に手摺り (鉄製滑り止め加工) を取付けること。
- シ 運転席と助手席の間に無線通信機器、電子サイレンアンプ等の制御装置を制御ボックスへ埋め込みACコンセント、USBポートを2穴設けること。また、この後部には携帯無線、携帯用ライト、熱画像装置が常時充電可能であり小型機器を収納できるメタル製仕切り箱を設けること。高さにあつては乗車時の膝丈とする。
- ス 後部座席左右下部に扉付ボックスを設け、車輪止め (大型自動車用) を収納する。
- セ ハイルーフコンソール (ベルリング仕様) (要別途協議)
- ① フロント 各種書類等が収納可能な2分割のボックスを設け、開閉扉を設けること。
- ② サイド 左右側面にそれぞれコンソールボックスを設けること。落下防止措置として下開き扉

を設けること。

- ③ リア 各種資機材等が収納可能な2分割のボックスを設け、開閉扉を設けること。また、収納庫下部にA4サイズの書類が収納可能なスペースを設けること。

ソ 作動状況視認可能自照式押しボタンスイッチ（スイッチ種類、配列については要別途協議）

- ① 電子サイレン
- ② eモニター
- ③ 右面作業灯
- ④ 左面作業灯
- ⑤ 後面照明灯
- ⑥ 自動昇降式投光装置収納確認灯
- ⑦ 積載梯子昇降装置収納確認灯
- ⑧ 右面シャッター扉開閉確認ランプ
- ⑨ 左面シャッター扉開閉確認ランプ
- ⑩ 後面シャッター扉開閉確認ランプ

タ ナットキャップ（1台分）

チ メッキナンバーフレーム（前後）

ツ バックアイカメラ（法規対応メーカー純正品）

(15) キャブ外仕様

ア ハイルーフ仕様とすること。

イ ハイルーフ部に文字記入（文字指定・大きさ・字体は要別途協議）

ウ リアステップは、ワイドステップ仕様とし、滑り止め加工を施すこと。

エ キャブ前面に赤色点滅灯を設けること。（赤色警光灯連動）

大阪サイレン製 LFA-100（前面2個）（配置にあつては要別途協議）

大阪サイレン製 LFA-50（前面2個） //

オ キャブ前面中央部に消防章マーク取付（車種マークを取り外すこと）

カ 後席ドア側面に文字記入（文字指定・大きさ・字体は要別途協議）

キ ハイルーフ部に埋め込み式標識灯を設置すること。（文字指定・大きさ・字体は要別途協議）

2 艀装材料は、次に掲げるもの又はこれらと同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用してあること。

部	品名	材	料
ポンプ	羽根車	日本産業規格（産業標準化法（昭和24年法律第185号）第17条第1項の日本産業規格をいう。以下同じ。） H 5120（銅及び銅合金鋳物） H 5121（銅合金連続鋳造鋳物）	
	ポンプケース	日本産業規格 H 5120（銅及び銅合金鋳物） 日本産業規格 H 5121（銅合金連続鋳造鋳物） 日本産業規格 G 5501（ねずみ鋳鉄品） 日本産業規格 H 5202（アルミニウム合金鋳物）	
	ポンプ軸	日本産業規格 G 4303（ステンレス鋼棒） 日本産業規格 G 4102（ニッケルクロム鋼鉄材）	
	真空ポンプ	日本産業規格 H 5120（銅及び銅合金鋳物） 日本産業規格 H 5121（銅合金連続鋳造鋳物）	
	真空ポンプ軸	日本産業規格 G 4051（機械構造用炭素鋼鉄材）	
	重要動力伝導軸 重要動力伝導歯車	日本産業規格 G 4051（機械構造用炭素鋼鉄材） 日本産業規格 G 4052（焼入性を保証した構造用鋼鉄材（H鋼））	
吸・吐水用配管	日本産業規格 G 5501（ねずみ鋳鉄品） 日本産業規格 G 3452（配管用炭素鋼鉄管）		

ホースの結合用ネジ部	日本産業規格 H 5120 (銅及び銅合金鋳物)
	日本産業規格 H 5121 (銅合金連続鋳造鋳物)
	日本産業規格 H 5202 (アルミニウム合金鋳物)
車の構成材	日本産業規格 G 3101 (一般構造用圧延鋼材)
注) 通水内面には防食処置を施すこと。(ただし、鋼及び銅合金部分を除く。)	

3 水ポンプ装置

- (1) ポンプ操作装置を車体両側面に設けること。
- (2) ポンプ性能はA2級以上で、ポンプ燃焼ヒーターを取り付ける等、冬期使用時に凍結等の問題の生じない構造とすること。
 - ア 放水圧 0.85MPa において規格放水量 2,000 L/min 以上
 - イ 送水圧 1.40MPa において高圧放水量 1,400 L/min 以上
- (3) 水ポンプは、シャシエンジンのPTO (パワーテイクオフ) により駆動され、PTOの操作は運転席又はポンプ室に設けられたスイッチにより行うものとする。

4 真空ポンプ

- (1) 真空ポンプは大型無給油ピストン式とし、真空ポンプ保護の為に、サーモスタット付ヒーターを内蔵、ポンプ・真空ポンプの間には、エアチャンバ・エアフィルタを備えるなどして、揚水性能の安定性向上を図るとともに、真空ポンプの長寿命化に配慮すること。
- (2) 操作は押ボタン式スイッチによるものとし、駆動装置は円滑に作動し、揚水完了後は自動的に停止すること。なお、非常用の別系統スイッチをポンプ室右側に設けるものとする。
- (3) 真空性能は吸管外端閉塞にて30秒以内に大気圧の84%とする。
- (4) 揚水性能向上、吸水側配管エアポケット防止の為に、真空ポンプの吸水側配管接続口は複数箇所とし吸水側配管を均一に減圧できる構造 (エアチャンバ) とすること。吸水時に、ポンプ内の空気だまりが発生しないようにする構造とし、ポンプ室上部に設置すること。

5 安全機能装置付ポンプ操作装置 (多目的液晶ディスプレイ装置)

ポンプ操作装置は車体左右に取付け、操作員が容易かつ安全にポンプ操作が行える様、次の機能を有するものとし、一つの操作盤で全てが行えるものとする。

- (1) 圧力計・練成計 (リタード式) はステッピングモータを用いた電子式 (透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付) とし、振動等でも針振れがない構造とする。
- (2) ポンプスロットルは電子式スロットルとし、左右どちらでも同方向に回転することによってエンジン回転速度を上げ下げできるものとする。
- (3) ポンプスロットルは、誤作動を防止するための安全ロック機能を設ける。
- (4) 多目的表示液晶ディスプレイの詳細は以下のとおりとする。
 - ア 取り扱い表示
 - イ モニタ表示 (警告モニタとして冷却水及び真空形成装置作動タイムに対する警告表示ができ、かつ警告ブザーが鳴るようにすること。
また、各ボールロックの開閉状況、揚水・放水の状況確認のできるモニタ表示、ポンプ回転数・ポンプ圧力計・ポンプ練成計・流量計を各々デジタル数値により表示できるモニタ表示ができること。)
 - ウ 流水表示 (各ボールロックの開閉状況、ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況が把握できる流水表示ができること。)
- (5) ディスプレイ内の各表示切替はパネルスイッチ操作により行えるものとする。
- (6) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保するため、次の安全機能を設ける。
 - ア スロットル固定機能
不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。ただし、固定した場合でも安全方向 (スロットルダウン) には操作できるものとする。
 - イ 自動調圧機能
機関員の負担を軽減するため、自動調圧装置を設けるものとし手動にて任意の圧力に上昇させた時点で設定する方法と、予め設置された7種類以上の設定圧力を、パネルスイッチにより選択する操作

方法が併用できる構造とすること。

自動調圧機能の解除については、スロットル操作を行った場合自動的に解除される構造とするとともに、パネルスイッチにて解除も可能な構造とすること。

ウ 真空テスト機能を有すること。

6 吸水口（連続呼水装置付）

吸水口は、消防呼称7 5mmボールコック（ストレーナ付）とし、車両両側に各1個設ける。

7 放水口

放水口は、消防呼称6 5mmボールコックとし、車両両側に各2個設ける。

8 中継口

中継口は、消防呼称6 5mmボールコックとし、車両両側に各1個設ける。

9 流量計

(1) 流量計は車両両側に各2個及び流量積算計を車両両側に各1個設ける。

なお、流量計の流量の表示はデジタル式とし、流量範囲によって表示色が3段階に変化すること。

(2) 流量範囲とは筒先を一人持ちで放水できる範囲、二人持ちで放水できる範囲及び二人持ちでも放水ができない範囲とする。

10 水槽

(1) 水槽は振動、衝撃等により損傷、緩み等を生じなく、水圧に対して変形及び水漏れがない構造で車体に固定しポンプ室後部に設け、容量5,000ℓ以上であること。マンホールは天井部に露出しない構造として、内部には有効な防波板を設けてあること。

(2) 材質についてはステンレス製とすること。

(3) 積水口は、消防呼称6 5mmボールコックとし車両両側タイヤハウス内に各1個設け、スプリング付逆流防止弁を備えること。

(4) リターン式オーバーフローパイプを設けること。

(5) 水槽は、ポンプによる自己補給が可能であり、ポンプへの補給口並びに排水口が設けられ、配管には緩衝装置を施していること。

(6) 水量計を車両両側に各1個設けること。側部に目盛（1,000ℓ単位）を表示し水量を分かり易くすること。

(7) タンク吸水口については、電動コックを使用し車両両側ポンプ室内のポンプ操作盤パネルスイッチで操作可能にすること。

(8) 水槽上部にはSUS製マンホールを設け、メンテナンス等が容易に行える構造とすること。

(9) 水槽上部は二重構造とし、マンホール等は埋設することで床面をフラットにすること。

(10) ドレン操作が行えること。

(11) 水槽保護の観点から、タンク吸水コックが開いている状態で、中継コック、吸水コックを開いた場合は、自動的にタンク吸水コックが閉じる構造とすること。

11 水槽の艀装材料の厚さは次によるものであること。

(1) 側板 4.0mm以上

(2) 底部 6.0mm以上

(3) 上部 4.5mm以上（ただし上部を通路とするものにあつては縞鋼板であること。）

12 艀装材料の厚さは次によるものとし、その他必要とする部分は縞鋼であること。

(1) 側部 2.0mm以上

(2) サイドエプロン 1.2mm以上

(3) フェンダー 1.0mm以上

13 車両の側板は周辺を折り曲げ、ステップは端部周辺を折り曲げる構造であること。

14 運転席は次によるものであること。

(1) 座高は原則として1.0m以上

(2) 天蓋は鋼板製

(3) 鋼板製ドアの取り付け

15 乗車人員の乗降時及び走行時における安全に必要な握り棒、手摺及び安全帯を設けてあること。なお、キャブ内の後席天井部に握り棒（ステンレス製）兼資機材掛け用パイプを取り付けること。（要別途協議）

16 消防専用電話装置

- (1) 既存無線機を納車時に旧車両より取り外し、新車両へ取り付けすること。
- (2) 無線機は車両アクセサリキーと連動とすること。
- (3) 無線アンテナ2本をルーフ左右に取付けケーブルを敷設すること。
- (4) 外部スピーカー（車両埋込式）及び車外無線機取出口の取付を車両両側へ取り付けすること。

17 資機材及び器具の収納に必要な収納箱等を設けてあること。

(1) 左右ポンプ室・速消室

左右ポンプ室については、上部手動式バーハンドルタイプシャッターであり、外部へ露出されていない構造とすること。

左右速消室については、下部扉兼用ステップとすることとし、夜間でも展開中のステップ位置がわかるようにステップ開閉時の正面に埋込式のLEDランプを取り付け、チェーンレス式ステップであること。左右速消室ホース収納箱には、ホース3本とノズルを収納できること。

(2) 後輪前側下部収納箱

後輪前側下部収納箱については、下部扉兼用ステップとすることとし、夜間でも展開中のステップ位置がわかるようにステップ開閉時の正面に埋込式のLEDランプを取り付け、チェーンレス式ステップであること。

運転席側収納箱は縦3列とし、上段にはタイタンスキッドシート、ベルトスリング2本を収納し、中段はエアリフトレスキューベストを収納する。下段にはデラックスサバイバースリングを収納する。助手席側収納箱は縦2列とし、上段にはALBOX1個を設け、枕木、中継用媒介金具、分岐管、ポンプ工具を収納し、下段にはラインプロポーションナーを収納する。※各棚の資機材については、適切な保護枠を設け、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。（仕様変更については別途協議）

(3) 水槽室三分割収納箱（前側）（上部手動式バーハンドルタイプシャッター）

左右側面に可動式の三段棚を設けてあること。運転席側収納箱の上中段には、200mスタティックロープを収納したロープバック2個、100mスタティックロープを収納したロープバック2個、50mスタティックロープを収納したロープバック4個を収納し、下段は、都市型救助資機材バック（リグテックバック）、ホースバック（50mmホース×3～4本収納）1個を収納する。上中段は、長孔パネルこぼれ止め式（パンチングメタル）とする。下段は、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。（仕様変更については別途協議）

助手席側収納箱の上段には、LXフォームジェットノズル、中段は、ハリガンツール1台、フォーシブルエントリーツール1台、グラスマスターツール1本、シートメタルナイフ2本を収納し、下段は、ホースバック（50mmホース×3～4本収納）1個と65mmホース（二重巻）3本を収納できること。※各棚の資機材については、適切な保護枠を設け、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。（仕様変更については別途協議）

(4) 水槽室三分割収納箱（運転席側中央）（上部手動式バーハンドルタイプシャッター）

長孔パネルこぼれ止め式（パンチングメタル）の三段棚を設けてあること。上段にはホースブリッジ2台、伸縮式三角コーン5本を収納し、中段はALBOXを2個設け、下段には、泡消化剤5缶、中和剤2缶、油処理資機材（吸着マット20枚）が収納できること。各棚の資機材については、適切な保護枠を設け、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。（仕様変更については別途協議）

(5) 水槽室三分割収納箱（助手席側中央）（上部手動式バーハンドルタイプシャッター）

可動式の三段棚を設けてあること。上段には救助ブロックA/Bを収納し、中段はレシプロソー1式、チルホール1台（ワイヤー1本含む）、小型燃料携行缶1缶を収納できること。下段は、エンジンカッター1台、チェンソー1台を収納できること。上中段には、長孔パネルこぼれ止め式（パンチングメタル）棚を取り付けること。各棚の資機材については、適切な保護枠を設け、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。（仕様変更については別途協議）

(6) 後輪タイヤハウス内（左右同仕様とする。）

下部扉兼用ステップを設ける。また、夜間でも展開中のステップ位置がわかるようなステップ展開時の正面に埋込式のLEDランプを取り付け、チェーンレス式ステップであること。タイヤハウス内には中央に各1個の積水口と耐荷重300kg以上の支点を左右各2個設けてあること。

(7) 水槽室三分割収納箱・下部収納箱（運転席側後側）（下部のステップ扉、シャッターの間に仕切りなし。）

展開棚を設置しアリゾナボーテックス一式を収納し、照明器具4台、照明器具用三脚2本、工具一式（絶縁体ツール）、絶縁体ボルトクリップ、救助用送風機、ワークライトデルタサードアイ2個を効果的に収納する。各棚の資機材については、適切な保護枠を設け、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。（仕様変更については別途協議）

(8) 水槽室三分割収納箱・下部収納箱（助手席側後側）（下部のステップ扉、シャッターの間に仕切りなし。）

ボックス内を縞板構造とし、スプレッダー、カッター、ラムシリンダーを縦置きで常時充電可能であること。緩衝部にはゴム板等の緩衝材を取り付けること。上部にはバッテリー充電器3個配置されていること。上部に長孔パネルこぼれ止め式（パンチングメタル）の二段の棚を設けALBOXを設け、上部にはラムサポート、クロスラムサポート、延長パイプ、牽引チェーンセットを収納し、下段は保護シールド、保護シート、エアバックカバー、小型救助資機材、カッター替え刃を収納する。各棚の資機材については、適切な保護枠を設け、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。（仕様変更については別途協議）

(9) 車両後部収納箱（上部手動式バーハンドルタイプシャッター）

ボックス内には、資機材マット（3～4枚）、空気ポンプ（FRP製）10本、オートクリブIT2台、車両救助用支柱一式、リフトバック、マッド式ジャッキ資機材をALBOXに収納し、空気呼吸器4基を効果的に収納する。棚の資機材については、適切な保護枠を設け、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。（仕様変更については別途協議）

(10) キャブシャーシ中間収納箱

長物を収納できるボックスを設けること。なお、資器材を取り出す際、キャブチルトの弊害とならない構造でかつ分割することなく、1枚の壁面となるボディー一体型構造とし、左右のいずれからも取り出しが可能であること。左右対称各2箇所の開閉扉とし、上段にクロスバー、とび口10本を上下に分ける仕切板を設け収納し、下段はバスケット担架を収納する。また下部位置に耐荷重300kg以上の支点を各1個設けてあること。棚の資機材については、適切な保護枠を設け、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。（仕様変更については別途協議）

(11) 車両上部収納箱（縞板構造）

収納箱には金てこ、スコップ、消火器、救命浮環、如雨露、救命胴衣、要救助者搬送ツールが収納できること。ボックス内には金てこ、スコップ、消火器のブランケットを取り付けること。要救助者搬送ツール収納は、適切な保護枠を設け、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。また収納箱の下部に仕切板を設け吸管3本を収納し、落下防止措置、固定方法は、別途協議とする。（仕様変更については別途協議）

その他

※各収納箱内には必要に応じた数のLED照明装置を取り付け、ボックス開放時に点灯させること。

また、収納箱扉をステップとして使用する場合は、全ステップの高さを統一すること。（要別途協議）

※車両上部の左右側面に側板延長（あおり型）を設け、車両終末は活動の障害とならないよう斜め45°にカット加工を施し赤色点滅灯、作業灯、耐荷重100kg以上の支点3箇所を設けること。（高さについては50cm程度、要別途協議）

※収納箱内資機材の積み降ろしは、必要に応じ引き出し方式としレールやローラー台を設けること。

※収納箱内には必要に応じて水抜き穴及び排水パイプを取り付け車体下部へ排水させること。

※組合の指定する各収納箱内には、縞板構造の箱を設けること。また、各資器材にあった保護枠を設け収納すること。

※左右ポンプ室壁面下部及び車両後部に電気コンセント（防水蓋100V）を設けること。

※車両後部にCTEK（充電器）を設けること。

※インバーター1800W級以上を設けること。

※走行中の振動により資器材への損傷防止等を講じること。

※車両に搭載される支点については全て耐荷重表記をすること。

18 車両下部及び格納箱内は必要に応じて塩害ガード塗装（アンダーコート又は同等以上の塗料）が施されていること。

※ポンプ室以外の格納箱内の内装について塗装を施すものとする。

19 バッテリーは引出にカバーを取り付け、かつ点検が容易なレール引出式構造であること。

20 取付品及び取付装置は次に掲げるものとする。

- | | | |
|-----|------------------------|----|
| (1) | ポンプ圧力計（左右各1個） | 2個 |
| (2) | ポンプ連成計（左右各1個） | 2個 |
| (3) | エンジン回転計（シャシ固有） | 1式 |
| (4) | エンジン油温計（シャシ固有） | 1式 |
| (5) | 赤色警光灯（ハイルーフ搭載）ベルリング製 | 1式 |
| (6) | 電子サイレン（ハイルーフ内蔵）大阪サイレン製 | 1式 |

「電動サイレン及び警鐘の疑似音を発することができ、かつ、拡声装置としても使用できるものであること。」

TSK-D152（P）MK-D1（MC-D1マイク付）同等品以上

SBW-D1（10連スイッチ）同等品以上

- | | | |
|-----|--------------------------------|----|
| (7) | 照明灯 大阪サイレン製 | 1式 |
| | LIA-300専用プロテクター付（後面左右各1個）同等品以上 | |
| (8) | 後退警報器（電子サイレン内蔵式を兼用可） | 1式 |
| (9) | 標識灯（ハイルーフ搭載） | 1式 |

21 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置は次に掲げるものとする。

- | | | |
|------|------------------------------|-----|
| (1) | GPSナビゲーションシステム | 1式 |
| (2) | 電動サイレン（自動吹鳴装置付、ハイルーフ内蔵） | 1式 |
| (3) | 真空計 | 1式 |
| (4) | ポンプ回転計（左右） | 1式 |
| (5) | 流量計（デジタル式4口） | 1式 |
| (6) | 積算流量計（デジタル式左右各1） | 1式 |
| (7) | キャブチルト装置（電動油圧式） | 1式 |
| (8) | オイルパンヒーター | 1式 |
| (9) | ポンプアンダーカバー | 1式 |
| (10) | 不凍液注入装置（カプラ吸引方式） | 1式 |
| (11) | スパイクタイヤ（アルミホイール付きチューブレス仕様） | 10本 |
| (12) | 作業灯 大阪サイレン製 LIA-300（左右側面各3個） | 1式 |
| (13) | 車外無線送話機取出口（左右各1個） | 1式 |
| (14) | 放水銃 YONE社製PM-4P（伸縮パイプ450mm） | 1式 |
| (15) | その他当該設備の基本設計の範囲内において必要な取付装置 | 1式 |

22 積載品及び付属品は次によることとし、安全確実に積載でき、かつ、容易に取り出しができる堅固な装備を備えてあること。

(1) 備えなければならない付属品

品名	数量（単位）	備考
吸管	3本	呼称75mm、長さ3m×3本、自在吸管エルボ×1
吸口ストレーナー	2個	ポリ製
吸管ストレーナー	2個	〃

吸管ちりよけかご	1個	〃
吸管枕木	1個	ゴム製
吸管ロープ	1本	DORAGON II ロープ 10mm×15m
消火栓金具	1個	YONE 製 (AS-75) 呼称 75mm メスネジ×呼称 65mm メス差込
中継用媒介金具	2個	YONE 製 (AS-65) 呼称 65mm メスネジ×呼称 65mm メス差込
消火栓開閉金具	1本	前澤式
吸管スパナ	2本	
管そう	2本	YONE 製 e-ノズルフォルダー (PEH-50A)
ノズル	2個	YONE 製 クアドラフオグノズル (NH-50QF)
ノズル	2個	YONE 製 LXフォームジェット (FN-50QLX)
放口媒介金具	4個	YONE 製 MC スイーベル ANS-65MC マルチタイプ
とび口	6本	1.8m 級 グラスファイバー製
金てこ	1本	
剣先スコップ	1本	
はしご	1基	関東梯子製 チタン三連 KHA-87 裏引き仕様同時伸縮式
車輪止	2個	大型自動車用
消火器	1本	自動車用蓄圧式 (ABC 粉末 6kg 型)
ポンプ工具	1式	
ホース(呼称 65mm×20m)	3本	キンパイ製 使用圧 1.3MPa New マイティ AA(aya)
ホース(呼称 50mm×20m)	10本	キンパイ製 使用圧 1.3MPa New マイティ AA(aya)
ホース(呼称 50mm×20m)	2本	キンパイ製 使用圧 1.3MPa New マイティ AA(aya) カラーホース

(2) 軽微な変更として備えることができる附属品

品名	数量	備考
分岐管	1個	YONE 製 (MC 分岐ボールバルブ)
ホースブリッジ	1式	CB450C (大阪サイレン製)
照明器具	1式	マキタ製 ML809 4台 (バッテリー各2個付) マキタ製 ML809 用三脚 2脚 (A-69129) マキタ製 バッテリー充電器 1台 (PC18RD) マキタ製 18V バッテリー 2台 (予備)

23 特別装備品及び取付品

- | | |
|---|----|
| (1) ポンプ室燃焼ヒーター | 1式 |
| (2) ドライブレコーダー (デンソーソリューション製 DN-PRO IV) | 1式 |
| (3) 消防章マーク (消防署用) | 1式 |
| (4) 後部座席温水ヒーター | 1式 |
| (5) ポンプ室接続水道蛇口 (庭園用ホース及び可変ノズル (接続可能) 付き左右各1個)
※後部フェンダー内に取付。蛇口を開けると自重出水仕様とする。 | 1式 |
| (6) 火災現場除染キット (火災現場除染キットMR1) | 1式 |
| (7) 無線機用外部スピーカー (ボディ埋込型左右各1個) | 1式 |
| (8) 赤色点滅灯取付 (赤色警光灯連動) | 1式 |
| 前面 大阪サイレン製 LFA-100 同等品以上 (2個) | |

	前 面	大阪サイレン製	LFA-50	同等品以上 (2個)	
	側 面	大阪サイレン製	LFA-300	同等品以上 (左右側面各3個)	
	後 部	大阪サイレン製	LFA-300専用プロテクター付	同等品以上 (左右各1個)	
(9)	積載梯子手動昇降装置	(左後部降ろしかつ収納箱扉開閉時に障害とならない仕様とし、また、昇降装置に鍵付梯子を積載すること。)			1式
(10)	自動昇降式投光器				1式
		湘南工作所製	WL232-2402		
		湘南工作所製	無線リモコン		
(11)	昇降用梯子取付	左右各1個 (回転式)、後部1個			1式
(12)	電磁式水量計取付	(左右1個)			1式
(13)	指定文字記入 (キャブ上部・左右、ボディ全体、後部、他)				1式
(14)	ウインチ取付	大橋機産社製			1式
		(5t級 油圧式CW5202F (アンダーフロアタイプ))			
		(ステンレス製アルミ蓋付 (LED照明付))			
		(ピンドルフック2個 (1箇所 耐荷重3,000kg以下)・バウシャックル2個)			
(15)	空気呼吸器取付器具	株式会社ベルリング製 (スマートドック)			7基
		後部座席後部3基、車両後部収納箱内4基			
(16)	エンジンカッター	ハスクバーナ製 K770Rescue (レスキュー専用刃)			1台
(17)	チェーンソー	ハスクバーナ製 135MARK II			1台
(18)	電動式油圧救助器具 (ホルマトロ製)				
	①スプレッダー	ホルマトロ製 PSP50			1台
	②牽引チェーンセット	ホルマトロ製 PCS02 (PSP50用)			1組
	③カッター	ホルマトロ製 PSU50			1台
		※カッター替え刃一式 ホルマトロ製 (PSU50用)			1組
	④ラムシリンダー	ホルマトロ製 PTR50			1台
	⑤ラムサポート	ホルマトロ製 HRS22NCT			1台
	⑥クロスラムサポート	ホルマトロ製 XRS01			1台
	⑦延長パイプ	ホルマトロ製 TRE04			1本
	⑧専用バッテリー充電器	ホルマトロ製 PBCH4 (100V用)			3個
	⑨専用バッテリー	ホルマトロ製 Pentheon用バッテリー			6個
	⑩デジチェーンパワーコード	ホルマトロ製 DCPC1			2本
	⑪オンツールチャージ	ホルマトロ製 POTC1			3本
(19)	救助ブロックA	ホルマトロ製 ステップチョーク			4個
(20)	救助ブロックB	ホルマトロ製 ロックブロックセット			1組
(21)	グラスマスター	ホルマトロ製			1本
(22)	保護シールド	ホルマトロ製			2枚
(23)	保護シート	ホルマトロ製 ツールステーション			2枚
(24)	小型資機材	ホルマトロ製 レスキューサポートバック			1組
(25)	エアバックカバー	ホルマトロ製 セキュネットIII			2組
(26)	車両救助用支柱	ホルマトロ製 Vストラッド			4本
(27)	車両救助用支柱バック	ホルマトロ製 キャリングバック			2組
(28)	車両救助用支柱補助器具				4個
(29)	シートメタルナイフ	ホルマトロ製			2本
(30)	レシプロソー	マキタ製 JR187DRGX (替え刃バイメタルBIM29 5本付)			1式
(31)	マット式エアジャッキ (ホルマトロ製)				
	①リフトバック	ホルマトロ製 HLB38			3枚

②	エアースホース	ホルマトロ製	10m青/黄	2本
③	開閉ホース	ホルマトロ製		3本
④	コントローラー	ホルマトロ製	HDC12J	1台
⑤	レギュレーター	ホルマトロ製	PRV12J	1台
(32)	オートクリブIT	AC-13		2台
(33)	ハリガンツール			1台
(34)	フォーシブルエントリーツール	T1		1台
(35)	ベルトスリング	100mm幅-3m級、75mm幅-3m級	各1本	2本
(36)	充電式携帯LEDライト	(ルミテック製 ファイヤーバルカンLED071F)		3個
		(ルミテック製バッテリー、充電ラック、AC/DCアダプター、ストラップ)		
(37)	外部電気コンセント	(防水蓋AC100V)		3箇所
(38)	インバーター	(1800W級以上：車両積載物充電用)		1組
(39)	CTEK充電器	(車両充電器)		1組
(40)	ラストアレスター	(24V-12ch)		1式
(41)	鍵付梯子	(関東梯子製 チタンKHFL-CT31)		1基
(42)	クロスバー	(関東梯子製 TRX-167)		1本
(43)	熱画像装置	(フリーア製 K-85)		1台
(44)	カスタムベスト	(FS・JAPAN製 文字入り)		2枚
(45)	拡声器	(TS-533L)		1台
(46)	エアリフトレスキューベスト	(Y908M)		1式
(47)	デラックスサバイバースリング			1式
(48)	バスケット担架	(ファーノ製 タイタンTi スプリット チタン (ベルト付))		1台
(49)	バスケット担架用ベルト	(ファーノ製 アジャスタブルリフティングブライドル ラージ スクリューロック式カラビナ仕様)		1式
(50)	都市型救助資機材			
	①ロープ			
		スタティックロープ 200m/11mm (オレンジ/ホワイト (エーデルワイス))		各1本
		スタティックロープ 100m/11mm (オレンジ/ホワイト (エーデルワイス))		各1本
		スタティックロープ 50m/11mm (オレンジ/ホワイト (エーデルワイス))		各2本
	②スリング			
		オープンスリング 60cm/16mm (イエロー (singing rock))		20本
		オープンスリング 120cm/16mm (レッド (singing rock))		10本
		オープンスリング 150cm/16mm (ブラック (singing rock))		4本
		オープンスリング 240cm/16mm (ブルー (singing rock))		4本
	③降下器			
		ID (S020AA00 (ペツル製))		2基
		レスキューエイト (D02 (ペツル製))		1枚
	④ロープクランプ			
		アッセンション (B17ARA (ペツル製 右手用))		4個
		アッセンション (B17ALA (ペツル製 左手用))		2個
		レスキューセクター (B50A (ペツル製))		2個
	⑤アンカー			
		ポー (S) (G063AA00 (ペツル製))		1枚
		ポー (M) (G063BA00 (ペツル製))		2枚
		スイベル (L) (P58L (ペツル製))		3個
	⑥コネクター			

オーケー (M33ASL (ペツル製))	50個
ウィリアム (M36ASI (ペツル製))	15個
⑦プーリー	
レスキュー (P50A (ペツル製))	3個
マインダー (P60A (ペツル製))	3個
ツイン (P65A (ペツル製))	2個
スイベルプーリー (P58A (ペツル製))	2個
スイフトウォータープーリー (2インチ (SMC))	1個
スイベルダブルプーリー (スピNL2 (ペツル製))	2個
(51) 救助用送風機 (EX150Li 全地形タイヤ (ラムファン))	1台
(52) 絶縁ボルトクリップ (ZBC-600)	1本
(53) 大型ホースバック (50mm ホース : 3~4 本収納)	2個
(54) ワークライトデルタサードアイ (FSジャパン BLACK WOLF)	4個
(55) 工具箱 (絶縁体ツールキット)	1式
(56) 空気呼吸器 (重松製作所 A1-12)	1基
(57) 空気ポンベ (重松製作所 730CIII AZ)	3基
(58) アクションカメラ (GoPro製 HERO12BLACK※SD別売り)	1台
①メモリーカード (SanDisk Extreme 128GB microSDHC)	1個
②超広角POV撮影用レンズ (GoPro製 Max レンズモジュラー2.0)	1個
③カメラマウント (GoPro製 ヘッドストラップ2.0)	1組
④カメラケース (GoPro製 保護ハウジング)	1個
⑤バッテリー及び充電器 (GoPro製 デュアルバッテリーチャージャー+Enduro バッテリー2個)	1組
(59) デジタルカメラ (PENTAX WG1000 (ケース付き))	1台
(60) ポータブルGPS (GPSMAP HIPlus in Reach 機能カメラ付き)	2台
(61) 訓練用レスキューマネキン (170cm/70kg)	1台
(62) ラインプロポーション (YONE製 FP-40/360 適応ノズル : クアドアフォグノズル)	1台

24 その他

- (1) 納入期限、また納期遅延による違約金等については、契約書条文に定めるほかシャシ生産の遅れに伴う納期遅延については、受注者の過失、帰責事由が無い場合に限り不可抗力条件とすることができ
る。※納入期限 令和9年3月31日
- (2) この消防車の納入後、下記の消防車 (以下の車両に係る夏又は冬タイヤを含む) を引き取り速やかに
廃車の手続きをすることとする。尚、引き取り・手続き等に係る費用は受注者の負担とする。
(車両名称 : 大成タンク 1 (函館88た820))